

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2009年8月号 通巻8号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2009

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！ tokyotanuki.jp

雨の日のタヌキの過ごし方

豪雨で観察場所が水没の危機！？



豪雨の後、再び姿を現したお母さん。雨にぬれて毛がけば立っている。ぬれていなくても、夏毛の成獣は毛がぼさぼさした感じになっているので、短毛の幼獣と見分けることができる。

タヌキは雨の日は何をしていますのでしょうか？ 野生動物なら雨でも関係なく活動するようにも思えますが、実際は雨を避けてじっとしていることが多いものです。タヌキも同じで、雨の日はねぐらから出てこないことが知られています。でも小雨の日はどうなのでしょう。

タヌキを観察するなら天気の良い日を選びたいものです。機材や荷物がぬれるのはいやですからね。しかし、天気予報が外れたり、突然の局地的降雨は避けられません。また、雨の日のタヌキの行動を知るには、あえて雨の中に出て行かなければならないこともあります。

集中豪雨で大ピンチ！！

例のごとく東京都23区某所でタヌキ観察していた時のことです。夕方から遠くで雷の音が聞こえる不安な空模様でした。いつものようにタヌキ家族が現れ、それを観察していたのですが…。間もなく雨が降り始

め、「雨足が強くなってきたな」と思っていたら、タヌキたちは全員、巣へと帰っていきました。なるほど「強い雨」だと外に出ないのだな、と確認することができたわけです。

私は引き続き現場にとどまっていたのですが、雨はさらに激しくなりました。あわてて荷物をポリ袋に包みぬれないように抱えました(傘は持参していました)。しかし非常にまずいことに、この観察地点は、雨水を一時的にためこむ遊水池でもあったのです。一帯は完全に水没してしまいました(といっても水深数cmですが)。私はベンチの上に荷物を抱えて登りました。ここなら水深が多少深くなっても大丈夫なはずです。多分…。どこにも動けないので豪雨の中を立ちつくすしかありません。

豪雨は1時間以上も降り続いた後ようやくおさまり、水は徐々に引いていきました。やれやれ、これで無事に帰れそうです。と思っていると、さっそくタヌキが1頭現れました。そのタヌキは一家のお母さんで

した。お母さんは雨で流されたネコのエサを探して食べています。やっぱりお母さんは腹ぺこなんだ、ということがここでも確認できたわけです。

雨が降ろうと風が吹こうと

本格的な動物の観察は、天気に関係なく実行しなければなりません。タヌキの場合は雨天中止しても影響は少ないのでまだ楽です。しかも都会のど真ん中というのは気楽なものです。これが山奥や離島だったらとてつもなく過酷な研究になるでしょう。それが動物学の現場なのです。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>